

7月14日(日)10:00~11:30 赤羽文化センター第1視聴覚室において、7月例会・手話学習会「手話の楽しさと多様性を知ろう3」を開催しました。講師は手話通訳士の中村みずほ氏で、会員27名の方にご参加いただきました。



### ★今回の学習内容★

#### 1. 願い事は何ですか？

4人から5人のグループにわかれ、それぞれの願い事を発表する。「自分と家族が健康で毎日を過ごせますように」という願い事が多かったようだ。

#### 2. クイズ…野菜を探せ！

用紙の中に隠れている野菜の名前を探して、指文字で答える。出てきた野菜を手話で表現する。

#### 3. 手話の多様性を学ぼう パート3

- (A) ① 母が帰ってきたら、食事をする。 → 食事をするのは私も入る。  
② 母は帰ってきたら、食事をする。 → 食事をするのは母。
- (B) ① 母と姉と私は旅行に行く。 → 3人  
② 娘の姉と私は旅行に行く。 → 2人
- (C) ① 「今日はビールがいい」 → 良い、欲しい、決めた  
② 「今日はビールでいい」 → 構わない、仕方がない  
③ 「今日はビールはいい」 → 要らない、お断り

#### 4. 会話練習

手話の多様性を学び、相手に正しく伝わり、相手の手話を正しく受け止めることが大切です。ことばのキャッチボールを楽しみましょう。



### コミ男とモア子のしゅわ談義

コミ男： 今年度は、ホース未来福祉財団から助成金を得られることになりました。9月からは午前と午後、学習の時間が増えます。また、12月は那須絵里さんの講演、3月は「聴覚障害者が目指す共生社会とは」と題してシンポジウムを行う予定です。

モア子： 助成金を受けられることになって良かったですね。それにしても、多彩な内容ですね。

コミ男： はい。助成金贈呈式に出席してみて、オーナーの志がこもった助成金だとわかりました。有意義に活用するため、役員会で企画について話し合っているところです。